

問題2

平面上に三角形 ABC と 2つの正三角形 ADB, ACE とがある。ただし、点 C、点 D は直線 AB に関して反対側にあり、また、点 B、点 E は直線 AC に関して反対側にある。線分 AB の中点を K、線分 AC の中点を L、線分 DE の中点を M とする。線分 KL の中点を N とするとき、直線 MN と直線 BC とは垂直であることを示せ。  
[名古屋工業大学]

(解答例1)

$xy$  平面で、頂点 A を  $y$  軸上に、頂点 B, C を  $x$  軸上に選び、

$$A(0, a), B(b, 0), C(c, 0)$$

とする。ここで、 $a > 0, b < c$  である。すると、

$$N\left(\frac{b+c}{4}, \frac{a}{2}\right)$$

である。題意を示すには、M の  $x$  座標が

$$\frac{b+c}{4}$$

をいえばよい。まず、E の  $x$  座標を計算する。E( $x, y$ ) とすると、 $AE = CE = AC$  であるから

$$x^2 + (y - a)^2 = (x - c)^2 + y^2 = a^2 + c^2$$

となる。すると、第1の等式から

$$-2ay + a^2 = -2cx + c^2$$

である。すなわち、

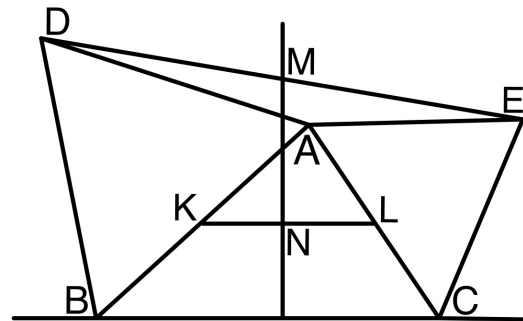
$$2ay = 2cx + a^2 - c^2$$

である。これを第2の等式の左辺に代入すると

$$4a^2(x^2 - 2cx + c^2) + 4c^2x^2 + 4c(a^2 - c^2)x + (a^2 - c^2)^2 = 4a^2(a^2 + c^2)$$

となる。すると、

$$4(a^2 + c^2)x^2 - 4c(a^2 + c^2)x + (a^2 + c^2)^2 = 4a^2(a^2 + c^2)$$



$$4x^2 - 4cx + (a^2 + c^2) = 4a^2$$

$$4x^2 - 4cx + c^2 = 3a^2$$

$$(2x - c)^2 = 3a^2$$

$$x = \frac{1}{2}(c \pm \sqrt{3}a)$$

題意から

$$x = \frac{1}{2}(c + \sqrt{3}a)$$

同じ計算をすると、Dのx座標は

$$x = \frac{1}{2}(b - \sqrt{3}a)$$

となる。これよりMのx座標は

$$\frac{b+c}{4}$$

となる。■

(解答例2)  $\vec{v} = \overrightarrow{AB}$ ,  $\vec{w} = \overrightarrow{AC}$ ,  $\vec{v}' = \overrightarrow{AD}$ ,  $\vec{w}' = \overrightarrow{AE}$  と置く。すると、

$$\begin{aligned} \overrightarrow{MN} &= \overrightarrow{AN} - \overrightarrow{AM} \\ &= \frac{1}{4}(\vec{v} + \vec{w}) - \frac{1}{2}(\vec{v}' + \vec{w}') \end{aligned}$$

である。 $\angle BAC = \theta$  とすると、

$$\vec{v} \cdot \vec{w}' = |\vec{v}| |\vec{w}'| \cos\left(\theta + \frac{\pi}{3}\right),$$

$$\vec{w} \cdot \vec{v}' = |\vec{w}| |\vec{v}'| \cos\left(\theta + \frac{\pi}{3}\right)$$

であるから、 $|\vec{v}| = |\vec{v}'|$ ,  $|\vec{w}| = |\vec{w}'|$  より、 $\vec{v} \cdot \vec{w}' = \vec{w} \cdot \vec{v}'$  である。これより  $\overrightarrow{MN}$  と  $\overrightarrow{BC} = \vec{w} - \vec{v}$  の内積は

$$\begin{aligned} &\frac{1}{4}(|\vec{w}|^2 - |\vec{v}|^2) - \frac{1}{2}(\vec{w} \cdot \vec{w}' - \vec{v} \cdot \vec{v}') \\ &= \frac{1}{4}(|\vec{w}|^2 - |\vec{v}|^2) - \frac{1}{2}\left(|\vec{w}|^2 \cos \frac{\pi}{3} - |\vec{v}|^2 \cos \frac{\pi}{3}\right) = 0 \end{aligned}$$

となるから、直線MNと直線BCとは垂直である。■

(解答例3) 複素数平面に与えられた図形を配置し、A, B, C, ... を表す複素数を  $a, b, c, \dots$  とする。ここで、 $a = 0$  とし、Aを中心とし、BとCはこの順に反時計回りとする。

$$\omega = \cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3} = \frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}i$$

とする。点BはAを中心とし点Dを $\frac{\pi}{3}$ 回転させたものであり、点EはAを中心とし点Cを $\frac{\pi}{3}$ 回転させたものであるから

$$b = d\omega, \quad e = c\omega$$

である。すると、

$$\begin{aligned} n - m &= \frac{1}{4}(b + c) - \frac{1}{2}(d + e) \\ &= \frac{1}{4}(b + c - 2(b\omega^{-1}) - 2(c\omega)) \\ &= \frac{1}{4}(b(1 - 2\omega^{-1}) + c(1 - 2\omega)) \\ &= \frac{1}{4}(\sqrt{3}i \cdot b - \sqrt{3}i \cdot c) \\ &= \frac{\sqrt{3}}{4}i(b - c) \end{aligned}$$

であるから、 $n - m$ は $b - c$ を原点を中心として $\frac{\pi}{2}$ 回転させ、 $\frac{\sqrt{3}}{4}$ 倍した複素数である。特に、直線MNと直線BCとは垂直である。■